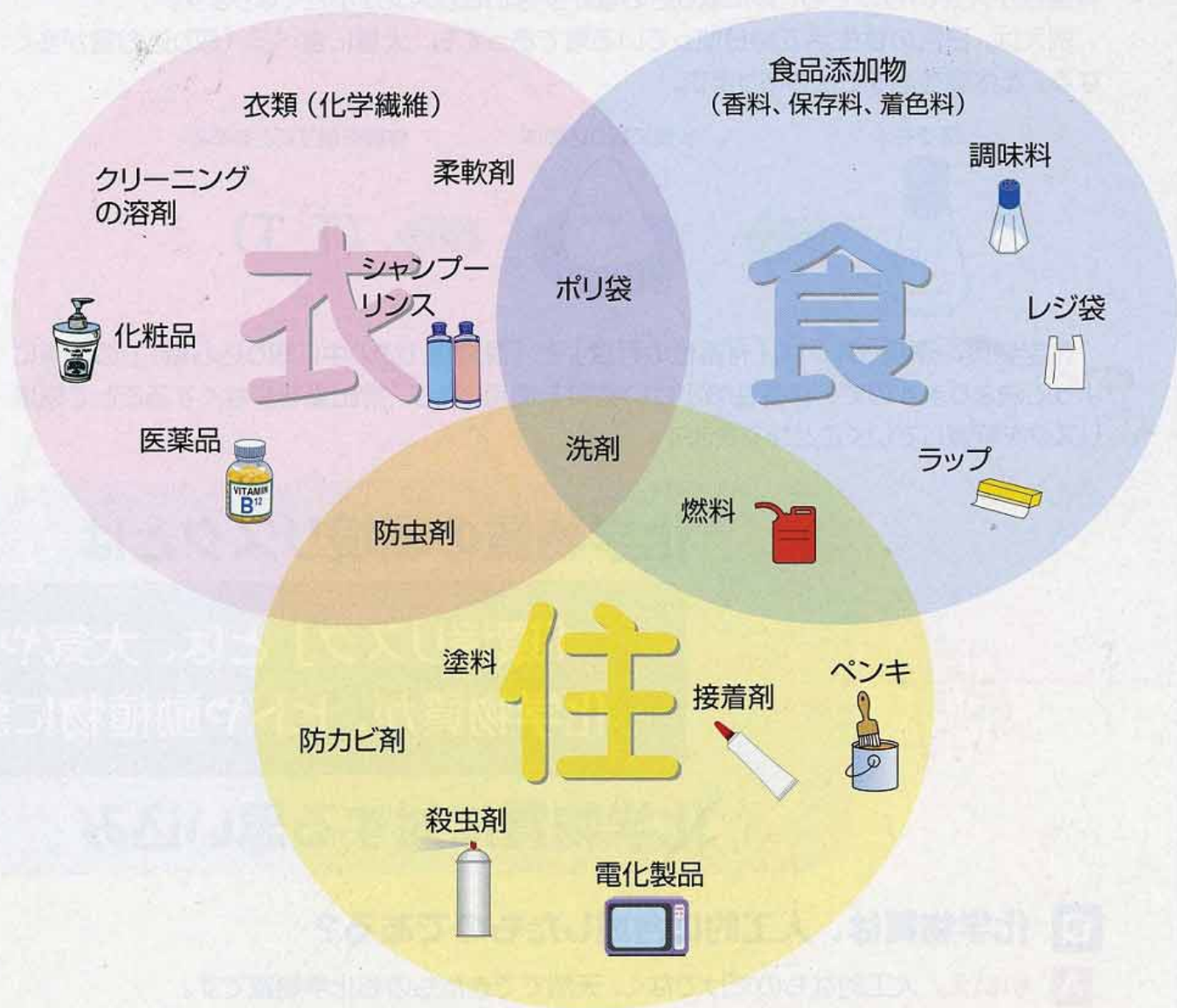


# 化学物質とリスク



## 私たちの暮らしの中にある様々な化学物質

私たちの身の回りには、化学物質から作られたさまざまな製品があり、化学物質がなければ、私たちの生活は成り立ちません。一方、これらの製品の製造から使用、廃棄に至る各段階で様々な化学物質が環境に排出され、人の健康や生態系に影響を及ぼす可能性（環境リスク）があります。

化学物質は現代生活に不可欠なものですが、使用方法を守り、定められた方法で廃棄する、必要以上を買わない、使わないなど、今までの生活を見直しうまく付き合うことで、環境リスクを少しでも小さくしませんか？



## 環境リスク = 有害性の程度 × 暴露量 (体の中に取り込む量)

有害性が小さいものでも、体に取り込む量が多くなるとリスクが大きくなります。

有害性が大きいものでも、体に取り込む量が少ないとリスクが小さくなります。

例えば、日常の食生活で毎日使っている塩であっても、大量に食べる(取り込む量が多くなる)と体調を崩すこともあります。



化学物質の環境リスクは「有害性の程度」と「暴露量(体の中に取り込む量)」の関係によって決まりますので、有害性の小さい物質を使用したり、排出量を少なくすることで環境リスクを軽減していくことができます。

### 必要な量だけ使う

食器の油污れはあらかじめふき取ることで、洗剤の使用量を少なくできます。

### 使用方法を守る

表示をよく読んで、使用上の注意を守りましょう。使用方法を誤れば、危険な場合もあります。

### 必要なものを買う

洗剤などは、中身の詰め替えができるものを選びましょう。

例えば、洗剤には汚れを落とすのに、ちょうどよい量があるので、使いすぎてもムダになります。

例えば、塩素系と酸性系の洗剤は、混ぜると危険な場合もあります。

## 化学物質の環境リスクとは

## 毎日の暮らしを見直してみよう

「環境リスク」とは、大気や河川・海などの環境中に排出された化学物質が、ヒトや動植物に悪い影響を及ぼす可能性をいいます。



## 化学物質に対する思い込み

## リスクコミュニケーション

### Q 化学物質は、人工的に合成したものである?

A いいえ。人工的なものだけでなく、天然でできたものも化学物質です。

### Q 化学物質には安全なものや危険なものがある?

A いいえ。安全なものや危険なものに二分できません。有害性が小さい化学物質であっても、大量に摂取すると健康に悪影響があります。

### Q 化学物質のリスクはゼロにできる?

A できません。化学物質は日常生活に深くかかわっていて、化学物質を全く利用せずに生活することは困難です。このため、化学物質によるリスクを小さくすることが大切です。

### Q 化学物質の毒性は全て判明している?

A していません。科学的に判っていないことや不確実なことがたくさんあります。

リスクコミュニケーションとは、市民、事業者及び行政が化学物質による環境リスクに関する情報(排出量データなど)を共有して、相互に意思疎通を図ることです。

リスクコミュニケーションを行うことで、関係者に信頼と安心が育ち、より適切な化学物質管理が行われ、結果として、環境リスク軽減が図られるため、社会全体で取り組むことが大切です。





# 大阪市内での化学物質排出状況



**事業者** から環境中に排出される化学物質

**第1位** **トルエン**

(ペンキ 塗料用シンナー 接着剤 などに含まれています)



**家庭** から環境中に排出される化学物質

**第1位** **パラ-p-ジクロロベンゼン**

(衣類の防虫剤 トイレの消臭剤 などに含まれています)

洗剤や化粧品など、商品の注意書きなどに書かれている表示をじっくり見たことはありますか?日ごろ目にしたことのない物質(化学物質)が、日常使っている色々なものに含まれていることがわかります。上記の物質は、大阪市の事業者や家庭からの排出量では常に上位にきています。

大阪市の事業者からの排出量は、自主的な管理の改善などの取組により排出量が削減されてきていますが、家庭からの排出量はわずかに減少しているもののほぼ横ばい状態です。

毎日みなさんが使用していますと「ちりも積もれば山となる」の言葉どおりたくさん環境に排出されますので、少しでも減らすように心がけることが大切です。

大阪市では、

事業者から届出のあった市域内の化学物質の排出量などのデータを公表することにより、市民のみなさんや事業者の方に化学物質についての関心を深めていただくとともに、事業者による化学物質の自主管理の改善の促進を図るなど、化学物質の環境への排出抑制に努めています。

**講師を派遣します!**

大阪市では、化学物質による環境リスクについて、市民の皆様が開催される勉強会などに講師として職員を派遣し、講習会を開催します。(無料)

化学物質がどんなものであるのか、どのように付き合っていくのかを簡単な実験を含め、わかりやすく解説した体験型の内容となっています。

お問い合わせ、相談は下記まで!

もっと、詳しく知りたい人はインターネットで検索

大阪市の化学物質対策

検索



大阪市環境局環境保全部環境規制担当

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルO's (オズ) 棟南館5階

電話:06-6615-7988 F A X:06-6615-7949

ホームページ:[http://www.city.osaka.lg.jp/shisei\\_top/category/893-33-3-4-2.html](http://www.city.osaka.lg.jp/shisei_top/category/893-33-3-4-2.html)

電子メールアドレス:kagaku@city.osaka.lg.jp

リサイクル適性 **(A)**

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

平成23年3月作成

平成23年4月1日に組織改正があり、担当は、

「環境管理部環境管理課化学物質対策グループ」に変わりました。